

Uptime. All the time.

止まらない、という安心。

”絶対に止めてはならない”条件は、いまや当たりまえのこと。
ストラタスには、止まらない環境を創るという社会的責任があります。
「Uptime All the time.」の実現をお約束すること、これはストラタスの宣言です。

低価格 + 高可用性 + 仮想化対応、全ての選択を可能に。

詳しくは Web で ▶ [Stratus MS Hyper-V](#) [検索](#)



ストラタス高信頼性無停止型サーバ ftServer®

日本ストラタステクノロジー株式会社 URL: <http://www.stratus.co.jp>
〒102-0085 東京都千代田区六番町 6 勝永六番町ビル [TEL] (03)-3234-5562 (マーケティング部直通)
お見積り・製品問い合わせ・報道問い合わせ用 E-mail: ftserver.jpn@stratus.com
Copyright (C) 2011 Stratus Technologies Japan, Inc. & Stratus Technologies Bermuda Ltd. All rights reserved.

もう一つの災害対策重要ポイント

社員がITを活用できる環境の確保を

災害対策に際して忘れてはならない重要なポイントがもう一つある。それは「社員がITを活用できる環境の確保」だ。東日本大震災においては、首都圏の公共交通網がマヒ状態となり、多くの帰宅困難者を出したことになった。今後同様の広域で災害が起これば、社員がITを活用できない状況に陥る。業務停止という状態に陥らなければならない。実はDCやクラウドを活用できる余地がここにもある。東日本大震災発生後、大企業を中心に「社員のパソコン環境をDCやクラウドに預ける」という動きが活発化しつつある。これまでも社内にあるデータやアプリケーションをDC内に配置し、災害などで出動できない状態でも自宅や社外から業務を行うことが可能

出典: ノーリサーチ

海外展開でも重要な役割

ここまでのDCやクラウドの活用は、大企業を中心に「社員のパソコン環境をDCやクラウドに預ける」という動きが活発化しつつある。これまでも社内にあるデータやアプリケーションをDC内に配置し、災害などで出動できない状態でも自宅や社外から業務を行うことが可能

出典: ノーリサーチ

GXS

GXSは企業間電子商取引（EC）における事業継続計画（BCP）の策定強化を支援することを目的とした「BCP対策プログラム」の提供を開始した。

同プログラムは統合クラウドプラットフォーム「GXSトレイディンググリッド」を軸に展開する、企業間データ連携アウトソーシングサービス「GXSマネージドサービス」がベースとなる。現在、同プラットフォームは世界で4万社以上の企業に利用されており、各顧客は同プラットフォームの「多重化されたネットワーク・データセンター」で24時間365日システム運用・監視サポートを活用しながら、企業間データ連携をグローバルに低コストで実現することが可能だ。

さまざまな取引先企業との円滑なデータ交換や取引先の追加が柔軟に行えるだけでなく、予期せぬ災害時に業務を止めることなく国内外の企業間ECが可能になる。

日本ストラタステクノロジー

日本ストラタステクノロジーの無停止型サーバ「ftServer E」シリーズは、米マイクロソフト（MS）のサーバ仮想化ソフトウェア「ウィンドウズサーバ2008 R2 Hyper-V」に全製品を対応させている。これまで仮想化に未対応だったエンタープライズモデル「2600シリーズ」も仮想化対応したことで、低価格で高性能な無停止型仮想化環境を構築できる。仮想マシン上で動作しているアプリケーション処理にftServer Eを利用することで、ハードウェア障害を極限まで防ぎ、システムの可用性を高める。また、専用のエンジニアによる遠隔保守サービスも提供していることから、IT投資や運用管理者を増やすことが難しい中堅・中小企業でも費用と手間を掛けずに導入可能となる。今後も、同社はMSと連携し、積極的に中堅・中小企業を支援していく考えだ。

大興電子通信

大興電子通信は1953年の創業以来、情報通信技術（ICT）を活用したソリューション・サービスを通じて、さまざまな側面から顧客の事業を支援している。

汎用機からオフコン、パソコンサーバ、そしてインターネットを活用したクラウドへと、ICTの進歩に伴い、その利用形態や活用分野が大きく変化する中、同社は「製造現場を基盤」としてクラウドサービスの提供にいち早く取り組み、実績を上げてきた。クラウド活用によるメリットを最大限に生かし、顧客のビジネスをより元気に、そして事業の発展を加速させるサポートをすることが使命と考えている。クラウドについての疑問や不安に関する相談に応じる体制を整えている。今後も顧客とともに新しいビジネススタイルを構築していく。

ネオジャパン

ネオジャパンのグループウェア「デスクネット」は、災害などの予測不可能な事態が発生しても社員の生存を確認できる安否確認機能を搭載している。

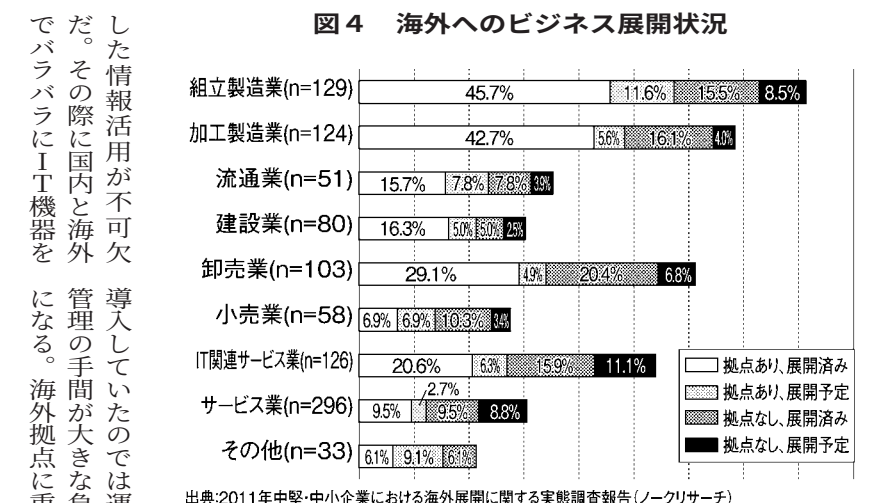
災害時に防災管理者がデスクネット利用者の緊急連絡先であるパソコン・携帯電話にメールを一斉配信し、利用者が安否状況や出社可否などの連絡を待つ。利用者からの連絡は自動的に集計され、安否確認や損害状況を視覚的に把握可能となる。また、事業継続に向けた連絡もデスクネットの伝言や閲覧板、インフォメーション、ウェブメールを活用することで大きな効果を発揮し、速やかな対応策を構築できる。

安否確認機能には防災訓練用の機能もついており、普段から防災訓練の一環として利用できる。日ごろ利用しているグループウェアの一機能として、いざという時に直感的な利用を可能にする。

ミロク情報サービス

ミロク情報サービスは機密情報の漏えいやパソコンの不正利用などを徹底管理するセキュリティ対策ソリューション「ソックス」を販売している。社内には蓄積されている企業情報を外部に持ち出されないようにするために記憶メディアへのコピー禁止や印刷禁止の機能はもちろん、内部統制の強化に向けて社員一人ひとりのパソコン操作履歴や業務時間外の使用履歴などを一元管理するログ監視機能などを搭載している。

同ソリューション導入時の機能設定が簡単に行えるほか、現状からの設定変更を伴う操作も最小限で可能にしている。また専門知識がなくとも管理・運用が容易で、管理画面を数分程度で完了させることができ、未登録パソコンの接続などを確認できる。



成長戦略に、ゆるぎない自信。そこに、MJS財務大将。

中規模企業向けERP売上
3年連続
No.1

業績伸長、そして成長の持続へ。
カギを握るのは財務。
MJSの財務大将は経営基盤の核として、あらゆる業種・業態の経営システムをサポート。経営の新たな武器になるIFRS(国際会計基準)にも対応。MJSはさらに、6つの強みを連携して、企業をバックアップします。

- ブランド** 財務に強いMJS。
- 全国展開** 全国30拠点で、地域密着型サービス。
- サポート** 信頼のカスタマーサービスセンター。
- 情報量** 経営に役立つ高品質な情報を常時提供。
- シンクタンク** 「MJS税経システム研究所」と連携。
- 稼働率** サポート、指導でユーザー稼働率100%。

経営課題にぴったりのソリューションをお探しなら、**MJS**

財務と経営システムのリーディング・カンパニー
株式会社ミロク情報サービス

●お問合せ：東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル48階 TEL.03-5326-038
●本社：東京都新宿区四谷4-29-1 TEL.03-5361-6369 (代表) ●拠点/30支社・3営業所

※ミック経済研究所「基幹業務パッケージソフトの市場展望 2010年版」より。年商5~100億円の
中規模企業におけるERPシステムの出荷金額ベース。
●財務大将は株式会社ミロク情報サービスの商標又は商標登録です。